

2022年3月期
決算説明会

2022年4月28日
栄研化学株式会社
(証券コード: 4549)



EIKEN CHEMICAL CO.,LTD.

■ 目次

1 2022年3月期 トピックス

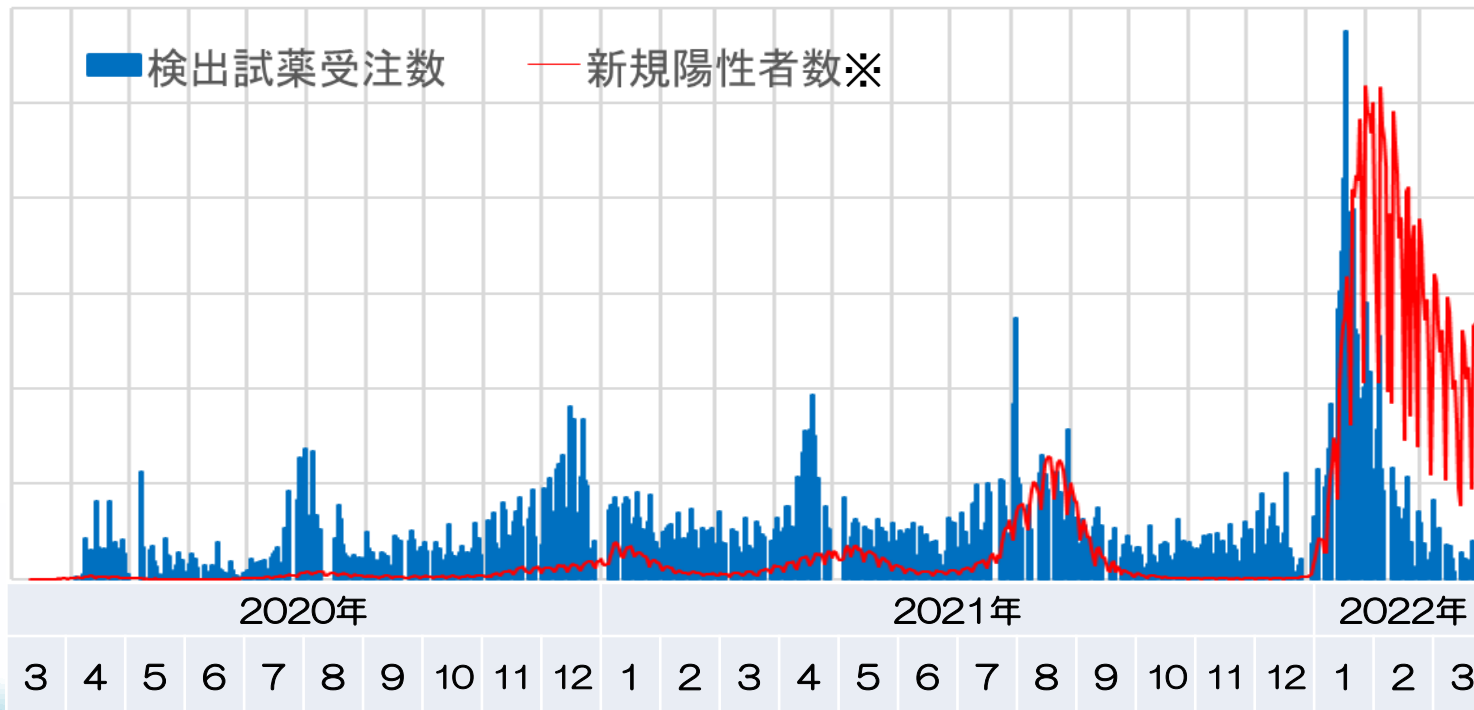
2 2022年3月期 決算概要

トピックス 1

■ 新型コロナウイルス検出試薬関連

LAMP法を用いた検査試薬の安定供給により新型コロナウイルス感染症対策に貢献
医療施設を中心に感染の状況に応じた需要に対応

— 新型コロナウイルス検出試薬受注状況 —



Loopamp 新型コロナウイルス2019
(SARS-CoV-2) 検出試薬キット



リアルタイム濁度測定装置
LoopampEXIA

※ 厚生労働省ホームページ 国内の発生状況

■トピックス 2

主な新製品

- 移動式免疫蛍光分析装置『Exdia TRF プラス』 (2022年3月)
- SARSコロナウイルス抗原キット『Exdia EKテスト COVID-19 Ag』
(2022年3月)
- インフルエンザウイルスキット『Exdia EKテスト Influenza A+B』
(2022年4月)

従来のイムノクロマト法に比べて高感度に、標的とする抗原の検出が可能な装置および専用試薬
感染症項目を中心に『Exdia TRF プラス』に対応した『Exdia EKテスト』シリーズ製品を拡充予定



『Exdia TRF プラス』



『Exdia EKテスト Influenza A+B』

■トピックス 3

➤ 第10回 技術経営・イノベーション大賞「文部科学大臣賞」を受賞（2022年1月）

LAMP法が国のCOVID-19感染症対策として広く使用されていることや、結核やマラリアに対応することで途上国の保健衛生にも貢献している点、更にはそれらを実現させた経営が評価された



2022年3月期 決算概要

■ 連結業績

	2021年3月期		2022年3月期		前期比 増減率	(百万円) 対予算※ 達成率
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	38,667	100.0%	42,996	100.0%	111.2%	106.4%
うち海外向け売上高	6,895	17.8%	8,868	20.6%	128.6%	97.6%
営業利益	6,612	17.1%	8,387	19.5%	126.8%	131.7%
経常利益	6,808	17.6%	8,508	19.8%	125.0%	132.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,044	13.0%	6,218	14.5%	123.3%	126.7%

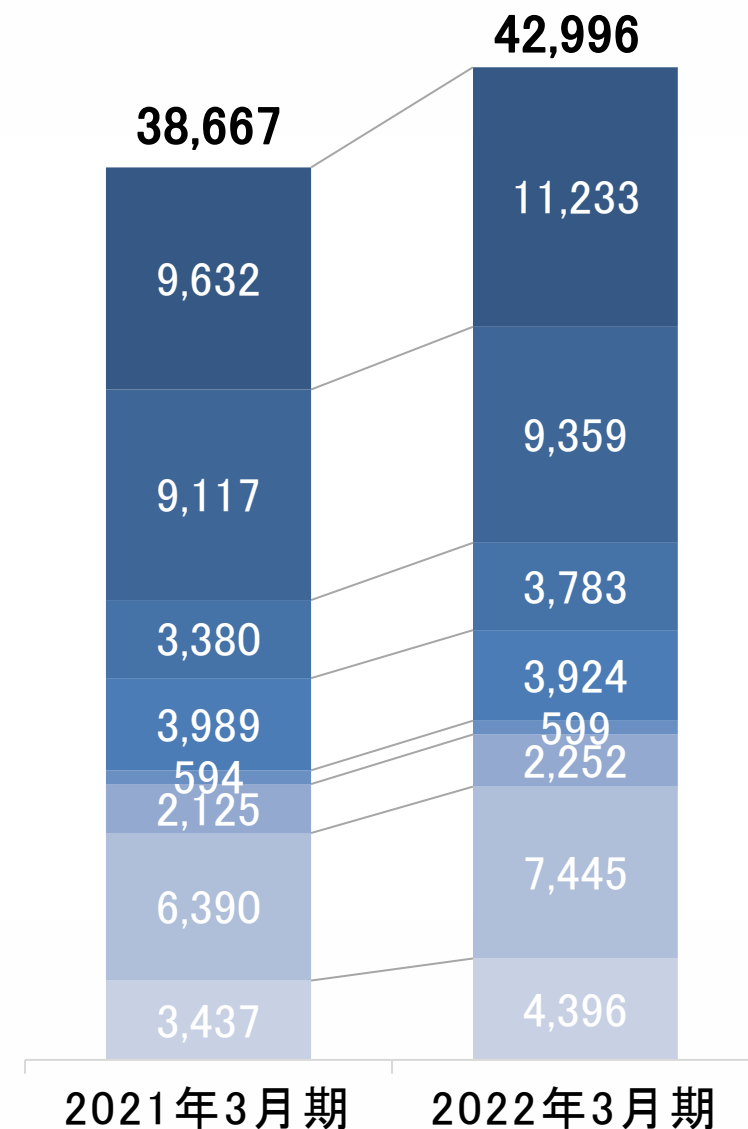
※期首予算 2022年4月28日に連結業績予想値と実績値との差異を発表いたしました

- 各種検診・スクリーニングプログラムの再開や外来患者数の回復傾向及び第4四半期における感染拡大による新型コロナウイルス検出試薬の需要が高まり、増収・増益
- 業績予想値と実績値との差異が生じた理由
 - ・ 新型コロナウイルス検査試薬の需要が高まり予想を上回る売上
 - ・ コロナ禍における営業活動の制限などに伴う販売費等の経費減少



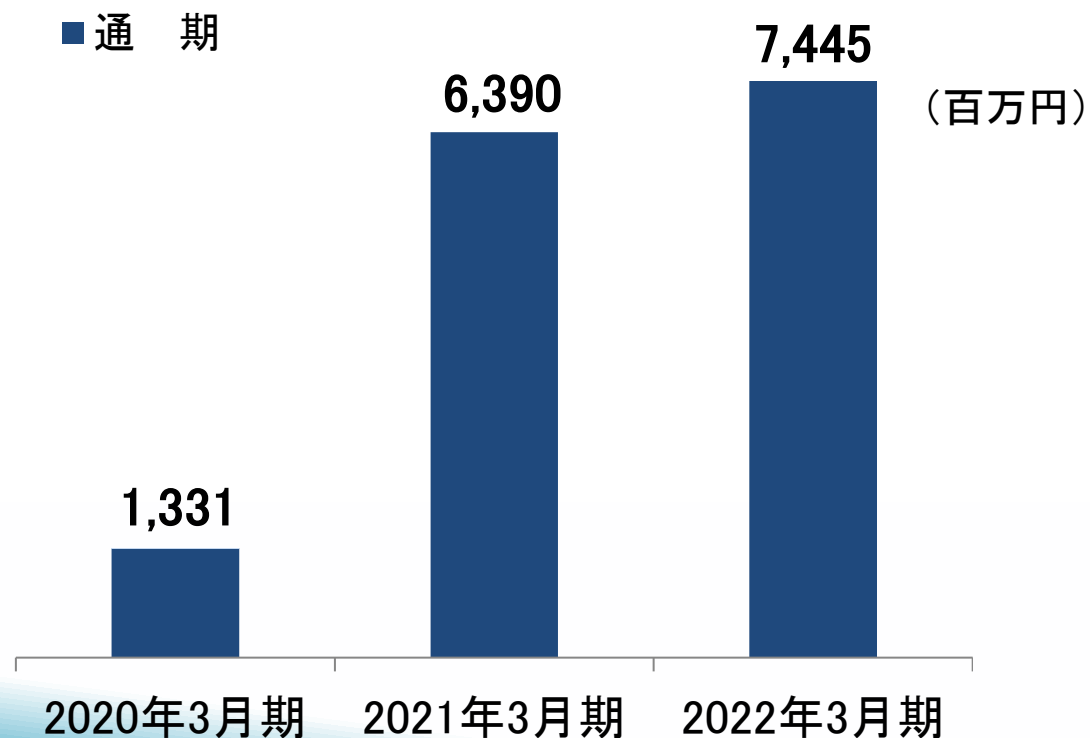
■セグメント別売上高

	(百万円)		
	2021年3月期	2022年3月期	前期比
便潜血検査用試薬	9,632	11,233	116.6%
免疫血清検査用試薬 (便潜血検査用試薬除く)	9,117	9,359	102.7%
尿検査用試薬	3,380	3,783	111.9%
微生物検査用試薬	3,989	3,924	98.4%
生化学的検査用試薬	594	599	100.8%
器具・食品環境関連培地	2,125	2,252	106.0%
遺伝子関連(装置含む)	6,390	7,445	116.5%
医療機器関連(遺伝子以外)・その他	3,437	4,396	127.9%
合計	38,667	42,996	111.2%



■セグメント別売上高 – 遺伝子関連(装置含む)

- 新型コロナウイルス検出試薬の売上が大幅に伸長
- TB-LAMP、結核撲滅のためのアクションプログラムを継続中
- ライセンス：特許料収入：1,165百万円（前期実績：1,285百万円）



Loopamp新型コロナウイルス2019
(SARS-CoV-2)検出試薬キット



リアルタイム濁度測定装置
LoopampEXIA

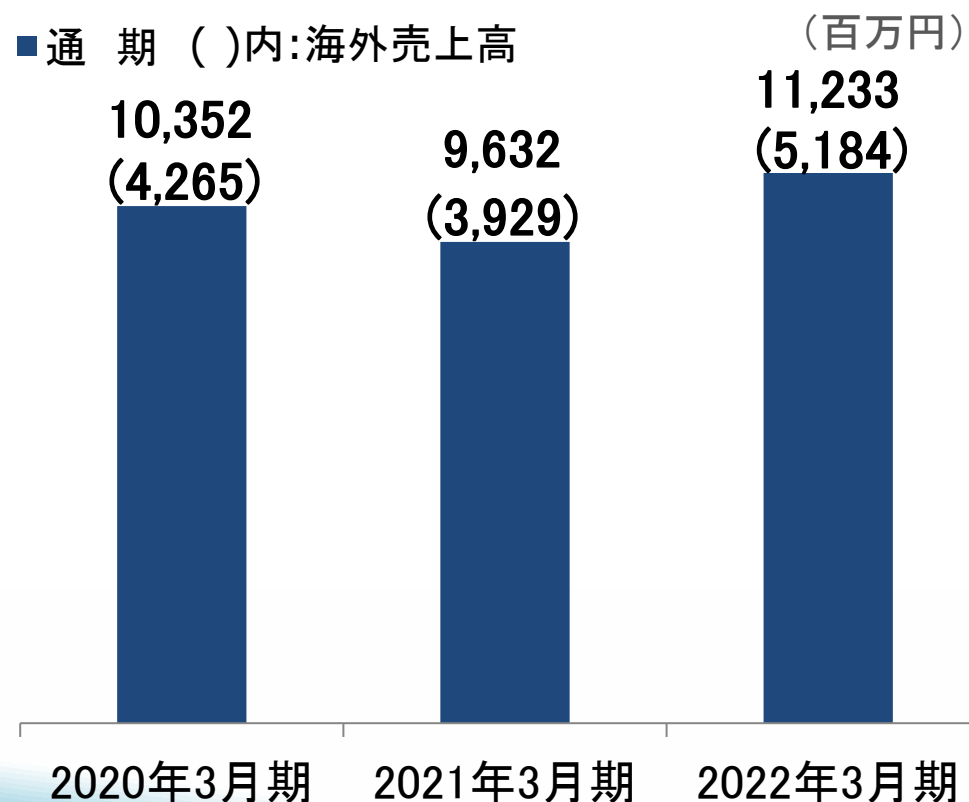
当社独自技術LAMP法を用いた、医療、食品、環境など幅広い分野に展開する遺伝子検査関連製品
TB-LAMP(結核検査)は2016年にWHOの推奨を取得し、途上国向けに展開中

■セグメント別売上高 – 便潜血検査用試薬・尿検査用試薬

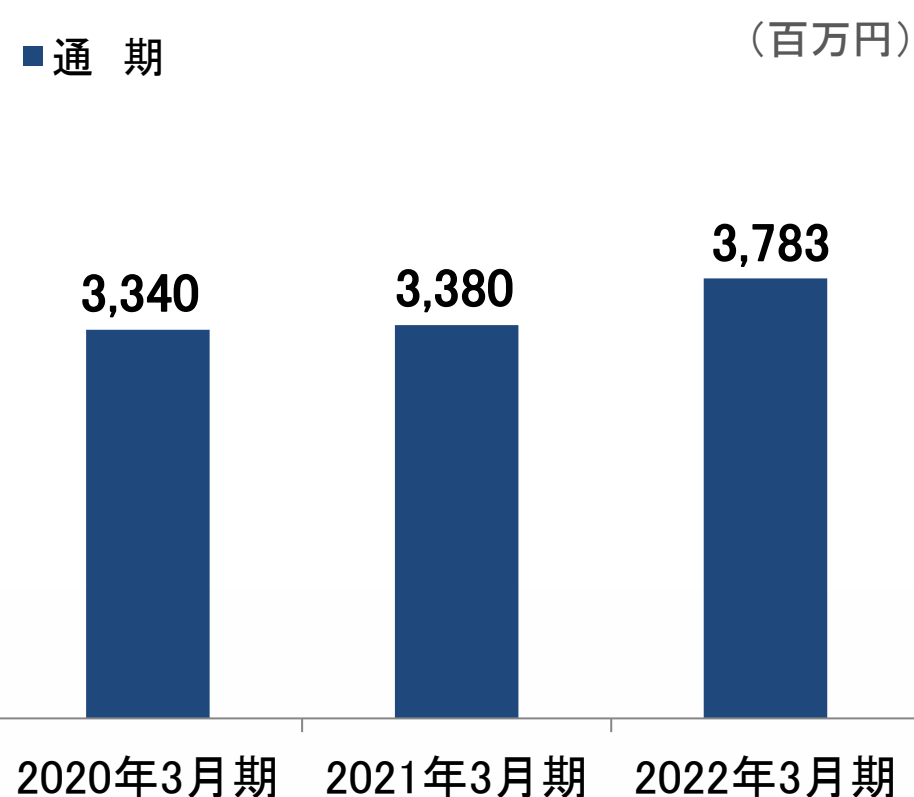


- 便潜血検査用試薬：各国、各種検診・スクリーニングプログラムが再開され増収
- 尿検査用試薬：健診市場・外来患者数とも回復、シスメックス(株)向け販売が増加し増収

便潜血検査用試薬



尿検査用試薬



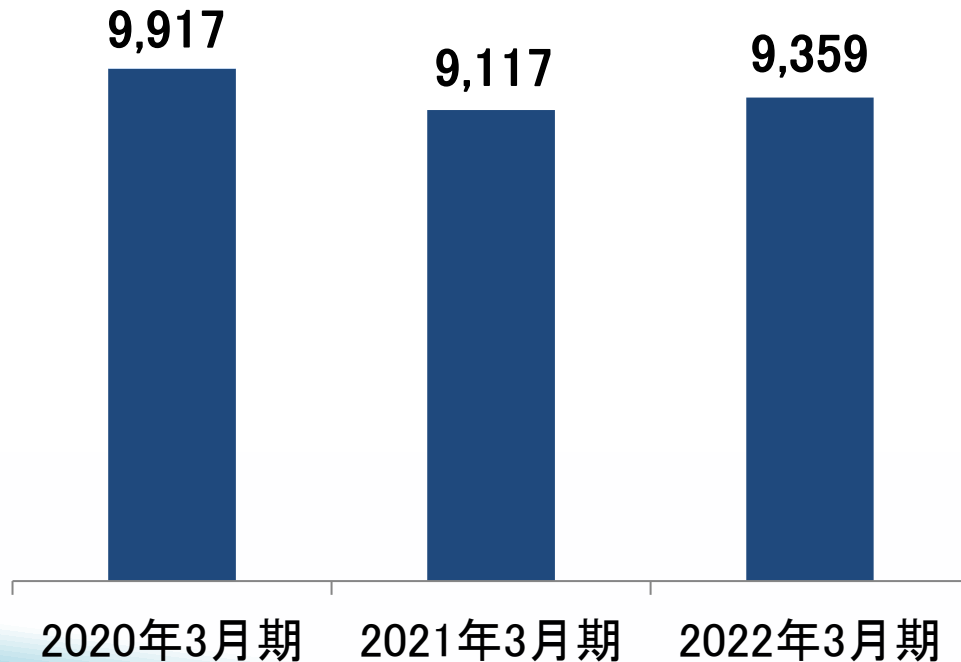
■ セグメント別売上高 – 免疫血清検査用試薬・微生物検査用試薬



- 免疫血清検査用試薬：外来検査数が回復傾向にあり増収
- 微生物検査用試薬：新型コロナウイルス検査の影響を受け、その他の感染症検査数減少により減収

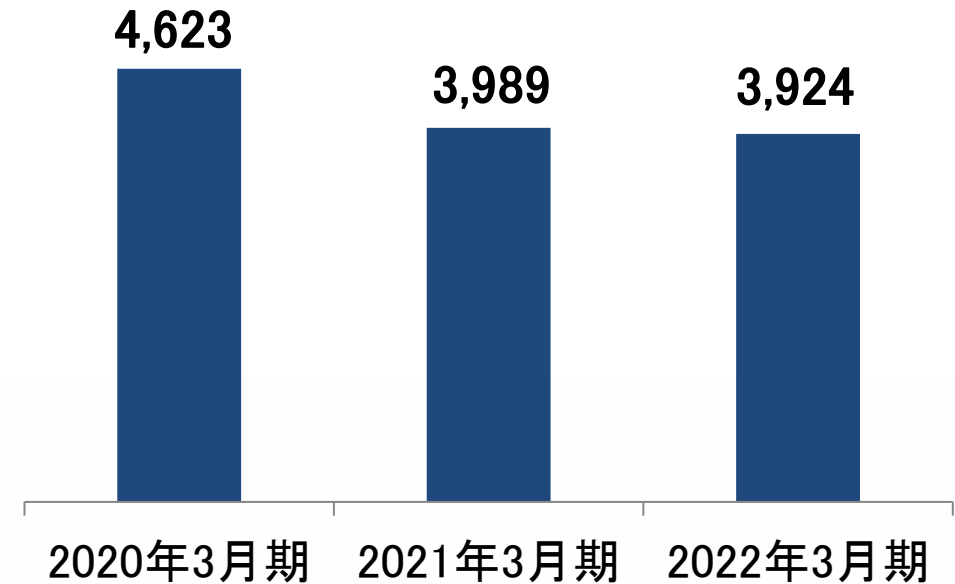
免疫血清検査用試薬

■ 通 期 (百万円)



微生物検査用試薬

■ 通 期 (百万円)



■ 海外向け売上高

(百万円)

【便潜血検査用試薬】

大幅に増加

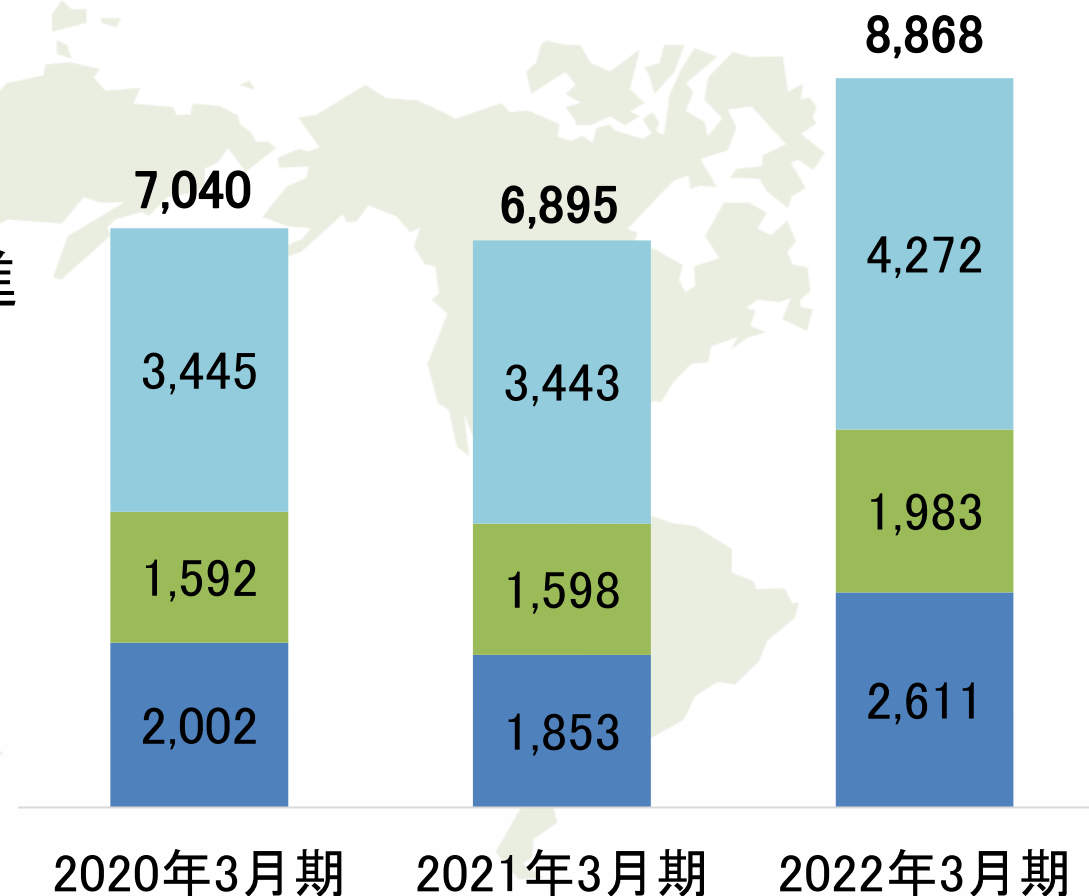
- ✓ 各地域での検診プログラムが再開
- ✓ Web検診、郵送検診、薬局検診、内視鏡トリアージの考え方が浸透し需要掘り起こし推進
- ✓ 米国における化学法から免疫法への切り替え促進

【尿検査用試薬・装置】

シスメックス(株)向けの販売が増加※

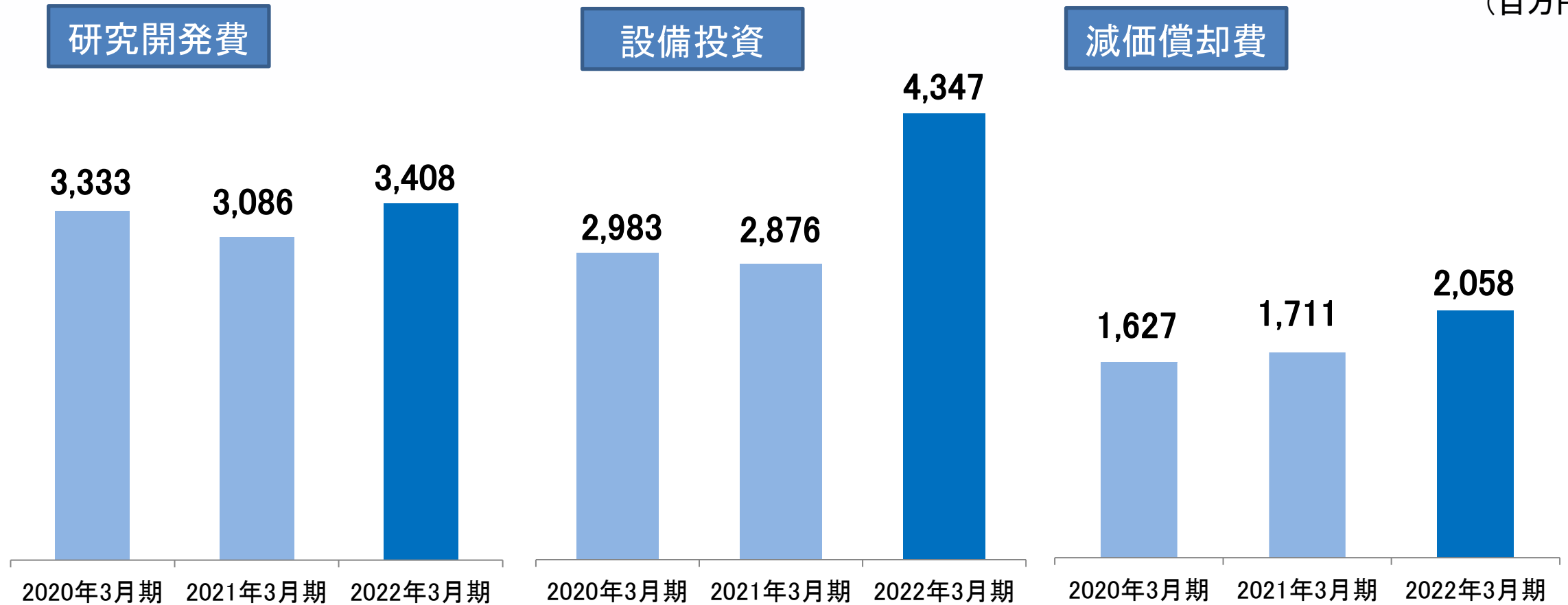
※海外向け尿検査用試薬の売上はアジア地域に含む

■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア・オセアニア・その他



■ 研究開発費・設備投資の推移

(百万円)



➤ 設備投資：生産システム開発、新研究棟建設により増加

■ 連結貸借対照表(ハイライト)

(百万円)

	前期末	当期末	増減額
	2021年3月末	2022年3月末	
流動資産	29,983	37,039	7,055
うち現金及び預金	9,150	16,121	6,971
有形固定資産	12,768	15,275	2,506
無形固定資産	1,450	1,350	▲100
投資その他資産	11,481	8,847	▲2,633
資産合計	55,685	62,512	6,827

	前期末	当期末	増減額
	2021年3月末	2022年3月末	
流動負債	12,772	12,533	▲239
固定負債	1,239	4,175	2,935
純資産	41,672	45,803	4,131
負債・純資産合計	55,685	62,512	6,827

自己資本比率	74.3%	72.8%
--------	-------	-------

■ キャッシュ・フロー

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	主な内訳
営業活動によるキャッシュフロー	5,451	7,769	税金等調整前当期純利益 8,482 減価償却費 2,058 売上債権の増加 ▲406 法人税等の支払額 ▲2,162
投資活動によるキャッシュフロー	▲2,193	▲5,044	有形固定資産の取得による支出 ▲4,428 無形固定資産の取得による支出 ▲465
財務活動によるキャッシュフロー	▲1,275	1,200	社債の発行による収入 3,000 配当金の支払 ▲1,699
現金及び現金同等物の増減額	1,987	3,931	
現金及び現金同等物の期首残高	4,981	6,968	
現金及び現金同等物の期末残高	6,968	10,900	

■ 配当金

株主還元方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。具体的には連結配当性向30%以上を目標としております。

1株あたり配当額: 51円 (中間20円・期末31円※)

連結配当総額: 18億85百万円

連結配当性向: 30.3%

※直近の期末配当予想から10円増配(2022年4月28日発表)



Saving Your Health

世界的な臨床検査薬企業として、人々の健康を守り続ける

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

